

平成 25 年度上下流交流事業

いちのみや秋の緑化フェア

【日 時】 平成 25 年 10 月 13 日（日）～14 日（月）

【場 所】 愛知県一宮市 138 タワーパーク

【内 容】 以下のとおり

一宮地域の緑化推進と、138 タワーパーク来場者が緑と花に親しんでもらう事を目的として、昨年より名称を変更し市民主体のイベントとして開催されているイベントです。

地元花卉業者による販売やフリーマーケットのほか、飲食ブース（木曾地域のほか地元商店会等による出展）、体験教室（木工、押し花など）、花や木の苗の無料配布（1 日 2 回×2 日間）、アユの無料配布（14 日のみ、2 回）などが行われました。

木曾広域連合では、旧イベント（「みどりとくらし展」）から通算して 7 回目の参加となり、今回は以下の事業者の皆さまにご協力いただき、「木曾の物産展」として出展しました。

- ・ 『木曾ごへ一本舗』…五平餅の実演販売
- ・ 『木曾の食と酒振興会』（久金商店・大沢商店）…地酒・果物等の販売
- ・ 『ボン・プラン』…おやき・中華まんの実演販売
- ・ 『ファーストグリーン』…椎茸の販売（袋詰め放題あり）
- ・ 『木曾広域連合』…ふるさと体験館と木挽の里の特産品委託販売、木曾ひのきの間伐材を利用した箸づくり体験、観光パンフレット配布による木曾路の観光PR

私たちのブースは運営本部の向かいに配置されており、本部が苗の無料配布場所でもあったことから、苗の配布時には毎回 200 人近い行列ができました。このため、整理券や苗を受け取ったお客様にそのままブースをご覧いただくことができる立地を活かし、木曾の物産を大いにPRすることができました。

5 月に行われる「いちのみやリバーサイドフェスティバル」と比較すると、市民の手作りイベントということもあり小規模なイベントですが、2 日間とも天候に恵まれ、イベント全体では昨年を上回る 31,185 人の来場がありました。来場者の多くは家族連れで、広い会場内で長時間のんびりと滞在される方が多く見受けられました。

※この事業は、長野県の「地域発 元気づくり支援金」を活用して実施しました。



ステージ発表



苗の無料配布に集まった来場者



広域連合ブース



木工体験（箸づくり）



観光パンフレットの配布



ごへ一本舗



木曾食と酒振興会



ボン・プラン



ファーストグリーン



来場者全員でラジオ体操

※この事業は、長野県の「地域発 元気づくり支援金」を活用して実施しました。